

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)		-	-	-
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の消費意欲は、必要な物に対しては積極的で、購入もする。多少の季節変動は感じられる。
		スーパー（経営者）	それ以外	・1月から売上は前年比プラスで6月は54%増と、とても忙しい。来客数は9%減だが、1日5回は来店していた客が来られなくなったことも一因である。6月はイベントが多く、2件キャンセルしたものの、何とかこなせている。7月も新規の夏祭りがあり、前年比プラスとなる予定である。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・上向いてはいるものの、ここ3～4年では最低の売上である。
		観光型ホテル（支配人）	来客数の動き	・観光シーズンに突入しただけではなく、前年と比べても、来客数は微増傾向にある。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・客をみていると、必要以上の物やぜいたくはしないという感じである。当店の商材は学校関係が多いが、子どもたちが、どうしても必要な物だけを買う時代で、新しい型が出たから買うということはほとんどなくなっている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・商品の動きは購入者の必要に応じた物のみで、販売側の施策には乗ってこない。相変わらず、買換えが主で、売上の伸びは厳しい。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は安定的だが、前年の空梅雨、猛暑の反動で今一つである。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客の動きに余り変化がない。6月は少し天候不順だったものの、客の様子は変わりが無い。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・3か月前と比べて、時期的な売上なので、特別大きく良くも悪くもない。若干の悪さはあるものの、変わらない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・今年は前年と比べて気温上昇が遅く、夏物商材の動きが鈍化している。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車販売が伸び悩んでいる。新型車は好調な一方で既販車種の落ち込みが大きい。消費税増税前の特需は、まだ余り感じられない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は、目標額を若干だが上回っている。車両販売は、消費税増税に伴う駆け込み的狀況を感じるが、増税後を不安と感じている客の思いは強い。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・悪くなっているようではないものの、低迷気味は否めない。
		スナック（経営者）	競争相手の様子	・変わらないと回答したが、悪いまま変わらないということである。当店周辺は飲食激戦区で、競争相手の様子が少し気になる。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今月は県内でG20関係関係会合があったためか、開催地から客が一部流れたようである。また、団体が前年よりも多かったため売上は良かったが、5～7月のトータルでは良くないため、3月と変わらない状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・数か月前から予約受注は好調に推移していたため、その分はプラスで推移している。しかし、フリー客の利用が鈍く、予約好調分を食い潰した形となっている。天候は大きく荒れることはなかったものの、全体的に消費が落ち込んでいるようにも感じている。
		旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・大型連休の反動もあり、個人の客足が非常に鈍い。また、企業も団体旅行など足踏み状態であり、様子見である。受注状況も含め、景気低迷に変わりはない。
		タクシー運転手	販売量の動き	・前月は1年ぶりに前年比100%を超えたが、今月は多分95～97%ぐらいである。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・イベントなど集客施策を実施し、来客数は前年を上回ったが、3か月前と比べると、伸び幅は縮小している。
	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・レストランなどで、シニア層の男女共に、「健康寿命を延ばして、より長くゴルフを続けたい」という会話が目立つ。集客営業にもそれを役立てている。	
	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・計画物件も依頼が多くあり、忙しい状況は続いている。	

	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・中古別荘を求める見学者数は横ばいだが、低価格な別荘の需要が多い。	
	商店街(代表 者)	来客数の動き	・相変わらず、街の人どおりは閑散としている。日に何人かの来店客も必要な品は買ってくれるが、目当ての物以外には何ら興味が無い。財布のひもは固いままである。	
	商店街(代表 者)	来客数の動き	・梅雨冷えによる低迷と大型連休の反動が大きく、客の動きが悪い。	
	百貨店(店長)	販売量の動き	・改元の盛り上がりは多少あったものの、その後は逆に来客数の減少がみられる。	
	コンビニ(エリ ア担当)	来客数の動き	・来客数の実績割れが続いており、回復の兆しがみえない。今後の消費税増税による買い控えなども、回復の阻害要因といえる。	
	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・先行きの不安感ばかりが目立っている。	
	スナック(経営 者)	来客数の動き	・フリー客はほぼ変わらないものの、宴会の動きが余り良くない。	
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・5月まで前年を上回り順調だった宿泊稼働が、6月は下回る見込みである。7月以降も前年並みで推移している。	
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・今月の山形県沖地震の影響により、県外、海外からの宿泊予定客がキャンセルになり、被害総額が100万円くらい出ている。それによって前年同時期より宿泊客数が落ちている。	
	ゴルフ場(経営 者)	来客数の動き	・梅雨に入り客足が鈍っているが、前年と変わらない。	
	×	スーパー(経営 者)	お客様の様子	・以前より高単価商材が売れなくなってきている。
	×	通信会社(経営 者)	お客様の様子	・他社の営業強化による乗換えでの保留や解約に加え、節約志向によるケースも増えつつある。
	×	その他サービス [葬祭業](経営 者)	お客様の様子	・テレビや雑誌で、葬儀屋の詐欺が報道され、当店のような弱小は、もろに影響を受けている。葬儀依頼は激減したが、永代供養墓や墓じまいの依頼は順調に動いている。
企業 動向 関連	-	-	-	
	*	*	*	
(甲信越)	その他製造業 [宝石・貴金 属](経営者)	受注量や販売量 の動き	・今月の個人向け展示会は、大口パイヤーが来場したお陰で、徐々に前年を上回る成果である。ただし、ルートセールでは、相変わらず、デパートが売れていないとのことで、厳しい。香港で開かれた展示会は、デモの影響で、ヨーロッパ、中国からの客が減り、売上減の厳しい結果となっている。	
	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・消費税増税の影響か、工事が増えている。最近では、前年同月を上回ることが多くなってきている。	
	金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・富士山周辺の観光地では、アジア地域の観光客が堅調に推移しており、個人観光客は若干増加傾向にある。団体旅行から個人旅行に変わり、1部屋当たりの人員が減少し、その分を客単価の引上げにより対応している。	
	食料品製造業 (営業統括)	競争相手の様子	・県産ワインは、東南アジア向け輸出は伸びているものの、英国のEU離脱交渉を受けた経済不透明感などが影響して、全体の輸出量は減少している。	
	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・売上の累計が、計画、前年比共に、大きく未達である。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・周辺企業の状況が良いという話は、聞いていない。	
	金融業(調査担 当)	取引先の様子	・米中貿易摩擦の影響による不透明感の高まりから、企業の景況感が悪化している。	
	新聞販売店[広 告](総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・消費税増税が近づき、買い控えを感じている。企業も経費削減の傾向が強くなり、折込チラシのサイズダウンが見受けられる。	
	×	食料品製造業 (製造担当)	取引先の様子	・また1店、街のスーパーが閉店している。
	雇用 関連	-	-	-
-		-	-	

(甲信越)	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・当所管内の製造業者から、「米中貿易摩擦の影響で、中国向けの輸出がストップしている。現在、生産調整を行い、様子を見守っている」と話を聞いている。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・米中貿易摩擦の影響を色濃く受けている業種もあれば、堅調な業種もみられる。数か月前には多少不穏な雰囲気を感じたが、現状では、余り感じない。	
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・ハローワークも含めて、正社員の仕事が今までにないほど少ない。仕事が決まっても、最終的に契約社員で済まされ、募集要項と違うケースが散見される。派遣業界に戻ってくる人が増えている。	
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・今月は求人誌掲載企業がかなり少ない。人材不足ではあるが、応募も少なく採用に至らないので、求人広告の掲載を諦めている企業も多い。	
	×	-	-	-